

支柱の打ち込み方に関する注意事項

- 1 . 土中深く、十二分に打ち込むこと
- 2 . 特に軟弱な土壌の場合は、下図Aのように効くまで打ち込むこと
- 3 . 軟弱でなくとも、下図Aのように土中深く打ち込むこと
- 4 . 下図Bのように、ツリーシェルター上部先端まで打ち込んで、十分打ち込んだとは言えない。下図Aの位置まで打つのが理想
- 5 . 下図Cは、支柱の打ち込みが不十分な例である。
支柱の打ち込みが浅いため、下図A、Bに比べ、ツリーシェルターを支える効果が薄く、風・雪による倒伏の可能性が高い。

ツリーシェルター設置図

